

AGUD・P Library Letter

2021年 11月利用状況

令和3年12月1日

(1)開館日数及び入館者数

(昼間・9:00～17:30、夜間・17:30～20:00)

	開館日数		入館者数		
	昼間	夜間	昼間	夜間	合計
楠元	25	20	857	412	1,269
末盛分室	23	20	783	53	836
合計	—————		1,640	465	2,105

学外利用者(登録なし)	楠元	0
	末盛分室	0

(2)帯出人数

	教職員	学生	その他登録者	合計
人数	62	109	0	171

帯出人数「学生」のうち :人

歯学部学生	薬学部学生	短大生
61	5	10

(3)帯出冊数

	教職員	学生	その他登録者	合計
冊数	108	207	0	315

(4)-1文献相互貸借依頼件数 (4)-2図書・雑誌貸借依頼件数

	件数			件数	
学外受付	24	(11)	学外貸出	0	(0)
学外依頼	48	(13)	学外借受	0	(0)
合計	72	(24)	合計	0	(0)

※()内数字は大学図書館以外

(4)-3CAN図書貸借依頼件数 (4)-4学内図書貸借依頼件数

	件数
学外貸出	0
学外借受	3
合計	3

	件数
学内貸出	18
学内借受	16
合計	34

朝晩の冷え込みや色づいた木々の様子に冬の訪れを感じる季節となりました。国内のパンデミックは小康状態が続き、様々な規制も緩和され始めていますが、まだ気軽に海外旅行はできません。隔離なく旅立てる日がいつやってくるのか分からない今、一足先に読書で旅行気分を味わってみるのはいかがでしょうか。

梓崎優の『叫びと祈り』(楠元所蔵:913.6/Sh)は、旅人が探偵役を務める連作推理短編小説です。スペイン、ロシア、インドネシアなど謎の舞台となる土地の雰囲気、歴史や価値観も感じられる一冊です。国内旅行の気分を味わうなら、あちらこちらで殺人事件を解決する、内田康夫の浅見光彦シリーズも定番ですがおすすめです。